

四の宮ゆま

平成二十二年四月十日

(編集・発行)
赤田神社社務所
九二二七五八二

集中豪雨

災害復旧作業

昨年七月の集中豪雨は、各地に甚大な被害をもたらしました。

吉敷地区においても、河川が氾濫し、家屋が浸水したり、家屋、田畑に土砂が流入したり、或いは、川の護岸や道路が崩落するなど、これまで経験したことのないような、大きな爪あとを残しました。

被害に遭われた多くの皆様には、その後、いかがお過ごしでしょうか。一瞬の出来事だったにもかかわらず、その後の生活への影響は物心ともに計り知れないものとお察しします。心からお見舞い申し上げます。

赤田神社においても、神社の裏手から東側に流れる川が氾濫し、恵比須神社と社務所が床下浸水。参道は川から溢れた水が膝下にまで達しました。

幸い、建造物等への直接的な被害は免れましたが、恵比須神社の床下や参道の表土が洗い流され、一方では、庭の池に多量の土砂が堆積しました。

流出した土砂の量は、十トンドンプでおよそ二十台分に相当しました。

昨年秋には、数日間にわたり、氏子有志と総代の皆さんにより、秋祭りに間に合うように、復旧作業が行われました。

恵比須神社の床下は、礎石の周りの土がえぐりとられていましたので、新たに土を入れて、礎石の傾きを防ぎ、建物に影響が出ないようにしました。



参道も表土がなくなりデコボコになったことから碎石を敷いて盤を作り、その上に真砂土を入れ転圧しました。また、池に流れ込んだ土砂を取り除く作業を行いました。

どの作業も予想以上に手間がかかり、大変な重労働にもかかわらず、無心に作業をされる姿に感謝するばかりでした。

その結果、ほとんどの復旧を行なうことができました。

作業に携わってくださった皆様、ありがとうございます。

まだ、一部整備が終わっていない箇所がありますが、今後、数年をかけて少しずつ整えていくよう考えています。

この度の災害復旧作業には、多額の費用がかかりましたが、氏子の皆様方から毎年頂いております維持費の積立金により実施することができました。

これも皆様の御協力のお陰と、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



主だった復旧作業が終わった境内で秋祭り